各地域審議会の審議内容（発言要旨）

資料　４

第２１回地域審議会（H24.3.21～29　各地域開催）

■合併効果の検証について（全地域）【企画政策課】

地域	委員	事務局
八代	他市での人口減少対策の成功事例は何かあるのか。	県内他市でも、移住希望者への情報発信、お試し移住体験などを実施されており、天草市では成果が上がっていると聞いている。来年度は八代市でも、定住施策について調査検討を行っていく。
	人口を増やすためか、農地がマンション等に変わっている。裏を返せば農業が狭められていっているのではないか。人口増加も結構だが、農業振興についてはどう考えているのか。	市民アンケートでも、農林水産業の振興についての評価が低いという結果が出ているので、総合計画後期基本計画にしっかり位置付けていきたい。
坂本	旧坂本村が一番健全な財政運営をしていた。他の地域では道路整備も進んでいるようだが、坂本では目につかない。合併の効果は何があったのか。	合併後の道路の整備状況は合併前と同じ程度の予算を確保しており、年間４、５箇所の道路整備を行なっている。
	合併特例債の残り１００億円の用途は。	環境センター、学校の耐震工事等。起債なので効率的に使う。
千丁	市民アンケートの良くなった点、悪くなった点で「移動のための交通環境の変化」が挙げられている。なぜこのような回答がなされたのか。	平成２３年にバス路線を再編し、今までバスが通らなかった箇所に乗り合いタクシーを導入したためよくなった一方、重複した路線を見直した事で「悪くなった」との意見も出されたと思われる。
	下水道について、この資料（汚水処理人口普及状況）は利用している人を示しているのか。下水道の整備は済んでいるが、利用していない世帯への対応、啓発活動、世帯の反応等を教えて欲しい。	下水道が整備され接続している事を水洗化率といい、平成２３年３月末で６８．５％である。接続していない箇所は、７月から１２月までシルバー人材センターへ依頼し、戸別訪問をした。 接続しない主な理由として、敷地内は個人負担となるため、１軒あたり２０～３０万円必要となる事、高齢者の単身世帯は、接続が難しい状況にある。戸別訪問は、本人と面談できるまで、何度も足を運んだ。

地域	委員	事務局
鏡	国民健康保険税について、議会でも議論があったと思うが、基金を取り崩すというのは、「まさかの時の基金」ということで、委員会で否決されたということを聞いたが、保険税の徴収率というのは案外と低いのではないか。	市税の収入状況は、平成１７ 年度が７２．８％、１８ 年度が７２．３％、１９ 年度が７２．２％と推移していたが、平成２０ 年度に６９．１％まで落ちている。これは、７５歳以上の被保険者が後期高齢者医療制度へ移行したためで、その後は２１ 年度が６９．０％、２２ 年度が７０．０％と、少しずつではあるが、また徴収率は上がってきている。
	学校関係の耐震化率が県平均よりかなり下回っているが、お金(予算)が無いということの他に何か理由があるのか。	耐震化率は、全体棟数１００棟あれば、１００ 棟のうち何棟が終わったかというもので、八代市の場合は、危ない方から順番に耐震化を行っている。耐震値の危ないものは、耐震化工事に非常に高額なお金を要するため、確かに率は低くなっている。ただ、平成２６ 年、２７ 年くらいになると、小規模な改修で済むものが多くなるため、そこで一気に耐震化率が上がってくると思われる。
東陽	特になし	
泉	特になし	

■市民アンケートの結果について（全地域）【企画政策課】

地域	委員	事務局
八代	アンケート結果で、「ずっと今いる地域で住みたい」という回答が多いが、学校に行くと学生たちも安定した生活環境を求めているようだ。今のハローワークの平均求人倍率は０．３４～０．３５程。企業を誘致し、安定して生活できる環境づくりができれば、若者も八代に安心して住めるし、税収も増えると思う。	貴重な提言として受け止める。
坂本	八代市は田園都市モデルを目指して欲しい。	計画の中身についてはこれからなので、参考にしたい。

地域	委員	事務局
千丁	回収率が５０％以下で、特に回答が少ない地域がある。	人口割で配布したため、少ない地域がある。前回のアンケートは３９％の回答だったが、今回（４４．９％）はそれを上回った。アンケートは１，０００枚集まれば大方の傾向は取れると考えている。
鏡	特になし	
東陽	特になし	
泉	特になし	

■住民自治によるまちづくりの推進について（全地域）【市民活動支援課】

地域	委員	事務局
八代	特になし	
坂本	第３期の先行地域の指定はいつまで申し込んだらいいか。	来年（Ｈ２６）の１、２月に手を挙げて先行地域を指定することになるが、今年（Ｈ２５）４，５月から手を挙げても認める。
千丁	ほとんど地域の会長は校区長だが、任期はいつまでか。設立当初は、ある程度の基盤が固まるまでは、一定の方が２期程度を務めるべきと考える。	これは設立準備委員会の会長である。地域協議会の設立総会で会長は決定する。どの校区も規約で任期を２年と定めている。すでに設立総会を終了した代陽校区と金剛校区の地域協議会会長は、現在の校区長である。副会長は体育協会長、婦人会長で、任期は同じく２年である。
鏡	今後は、住民自治組織の拠点として、公民館じゃなくて、コミュニティセンターみたいな所をつくる予定はあるのか。	八代市の場合は、校区の公民館があるので、基本的には、そこに、まずは事務局を設ける。将来的には、コミュニティセンターという名称をつけて、地域協議会に指定管理者という形で運営していただき、その運営に関する経費については、人件費を含めたところで、地域協議会へという方法を検討していきたいと考えている。

地域	委員	事務局
鏡	部会数とか、各校区で特色のある構成にされているが、必ず市の方から参加されて、アドバイスとか、たたき台の提案とか、そういう相談にはのっていただけるのか。	市民活動支援課で担当者を設け、その準備会の中に入りアドバイスをしている。また、校区の出張所のあるところは出張所長、公民館主事が、支所については、総務振興課と公民館が一緒になって支援をおこなう。設立をされた後、平成２７ 年度以降も、ある程度、担当の職員は置いて、ご相談を受けることになると思う。
東陽	特になし	
泉	住民自治組織化について、五家荘とその他の地域間の距離がありすぎることから町全域を一つの組織とするのは難しいため、①下岳②柿迫・栗木③五家荘の３つの単位組織を設立し、泉町はその連合体として運用していく方が望ましいと思うが。	支所としてもその方向性が適正であると考えており、市政協力員会議の中で再度意見聴取し、既存の各種団体などから構成委員を選考する形で、設立準備会の組織化に向けた取り組みを進めていく。

■八代市学校規模適正化基本計画について（東陽地域）【学校教育課】

地域	委員	事務局
東陽	特になし	

■八代市保育所民営化等計画について（東陽・泉地域）【こども未来課】

地域	委員	事務局
東陽	特になし	
泉	見直し計画はどうなっているか。	昨年６月の新聞報道を受け、各地域審議会への報告、関係する保護者等への説明会を開催し、皆様からいただいた様々なご意見を基に現在計画の見直しを実施している。前回の泉地域審議会で説明したとおり平成２５年度の統合は実施せず、平成２４年度において再度地域からの意見を集約し、要望に対して可能な限りお応えできるように見直し案を作っていきたい。

■平成２４年度主要事業について（全地域）【企画政策課】

地域	委員	事務局
八代	笑顔deあいさつ日本一運動推進事業、予算５５０万とはどのような事業か。	これまで、市民サービス向上を目指し職員向けに行ってきたあいさつ日本一運動を、今後は全市的に広げていく。さわやかな挨拶が飛び交う八代市を目指し、市役所職員だけでなく、地域・学校・企業等にも呼び掛けてあいさつ運動を展開していく。 予算の内容は、活動推進のための啓発ポスター、のぼり旗の作成、市民参加型のイベント実施の費用。
坂本	県道百済来～二見線の拡幅工事をお願いしたい。	二見の方から道路改良が進んでいる状況。今後も県に要望等働きかけて行く。
坂本	県道中津道～八代線はその後どうなったか。	説明会が数回開催され、県の方で整備の検討が行なわれている。 再度説明会が行なわれると思う。
	ダム撤去に伴う代替橋の要望が出ていると思うが、その後どうなったか。	地元要望もあり、引き続き地域対策協議会の中で協議されていく。
千丁	平成２３年１２月の市議会で、平成９年に熊本県と八代市で「八代工業用水の上水転用にかかる覚書」を交わした。工業団地の整備と企業誘致を推進し、東京事務所などへ市職員を派遣し連携を図ったが、具体的な成果は見られない。今後も積極的に県との連携を図りたいとの答弁がなされた。企業誘致は厳しい状況で、千丁地域への工業団地の検討がなされたが、なかなか進まずに白紙になった。企業誘致による地域活性化は重要課題と考える。どのような企業誘致対策を行うのか。	誘致する事業を訪問するための旅費、パンフレット印刷、工業用地の情報と実態把握の委託に約３６０万円、企業振興促進条例の補助金が約４，３００万円、企業誘致ができなかった千丁地区の北吉、南吉地区の排水路改修を行う。 新規学卒者の未就職者、再就職へハローワークと連携したセミナー、就職面接会を行う。 中高年齢者職業相談事業は、緊急雇用基金が終わっても市の単独事業として行う。
	工業団地は白紙になったが、他の場所は検討しないのか。	産業活性化ビジョンの中で検討していきたいが、地場企業の育成、投資拡大を合わせて行うことが柱となる。
	工業振興ビジョンの策定とはどのようなものか。	昨年一年間で民間の方を交えた部会を立ち上げた。最終的には、産業活性化ビジョンとして作成した。公表は議会終了後に行う。

地域	委員	事務局
鏡	「八代市がまだしもん応援事業」、後継者が段々いなくなるという中では大変意義のある事だと思うが、これは団体への無利子貸付か。	「がまだましもん応援事業」は、無利子の貸付ではなく、住民自治を担う組織団体、ＮＰＯ等の市民団体が、自分たちの地域の問題解決のため、事業提案を行い、市と協働で取り組むもので、１事業あたり上限50 万円を補助するもの。
東陽	老朽危険空き家除去促進事業、民間建築耐震診断事業の内容が具体的に分かったら末端まで詳しく知らせていただきたい。 新規事業については、担当課でなければ説明が出来ない部分もあろうかと思うので、その辺が分かるように区長会あたりに説明をお願いしたい。	新年度の区長会の際に、資料を持参し説明を行いたい。
泉	特になし	